

≡≡≡ 特許紹介 ≡≡≡

ピラーガーニッシュ

特許No. 4427879

発明者 田嶋博幸, 佐久間純行, 戸谷千春, 細川武司

[発明の属する技術分野]

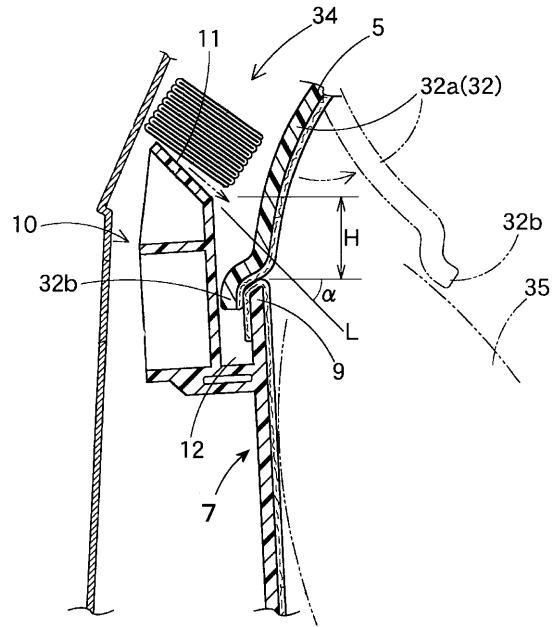
本発明は、頭部保護エアバッグの下方に配設されるピラーガーニッシュに関する。

[発明の概要]

案内部10の上部にエアバッグ34の突出を案内する案内面11が形成され、車内側の上端部位9が案内面11の延長線Lより下方に位置し、案内部10と上端部位9との間にルーフヘッドライニング5の下端32bを収納する凹部12が形成され、案内面11の水平方向からの角度 α が、 $45^\circ \sim 60^\circ$ の範囲とされることを特徴とするピラーガーニッシュ7。

[発明の効果]

エアバッグ34がピラーガーニッシュ7の車内側上端部位9と干渉せず、ピラーガーニッシュ7を外すことなく、円滑に車内側に突出する。



頭部保護エアバッグ装置

特許No. 5131133

発明者 末光 泰三, 落合 康雄

[発明の属する技術分野]

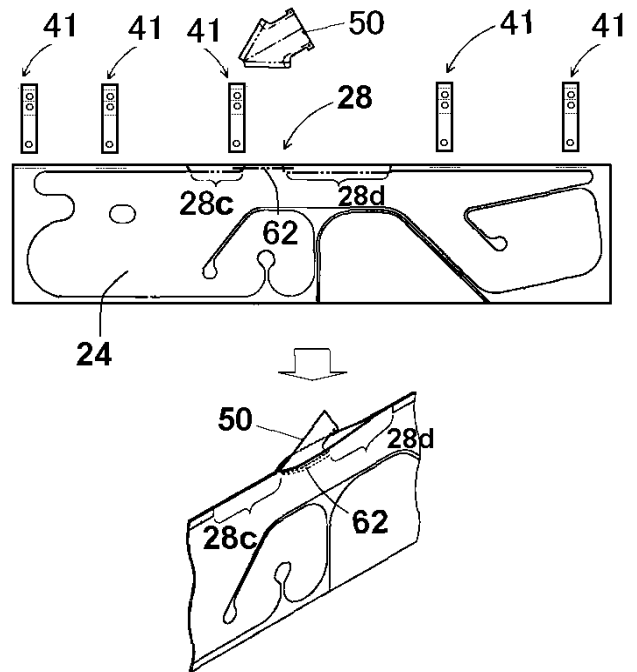
本発明は、窓の上縁側に折り畳まれて収納され、下方へ向けて展開膨張する頭部保護エアバッグ装置に関する。

[発明の概要]

頭部保護エアバッグ装置は、袋織された長方形のエアバッグ本体部24の上辺に車体への取付片41を連結し、更に、上辺の開口28にインフレーターに連結されるアウターチューブ50を挿入して縫製部62で連結後、開口残部28c、28dを閉じ縫いして形成することを特徴とする。

[発明の効果]

アウターチューブ50及び取付片41が、長方形のエアバッグ本体部24と別体とされている為、エアバッグ本体部24の歩留まりが向上し、裁断コストも抑えることができる。



キャップとこれを有する燃料給油装置

特許No. 4877167

発明者 榎本健太郎, 森栄心

[発明の属する技術分野]

本発明は、キャップとそれを利用した燃料給油装置に関する。

[発明の概要]

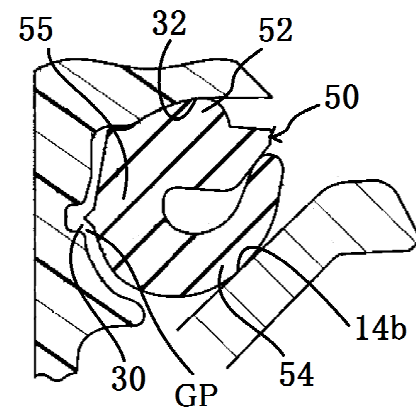
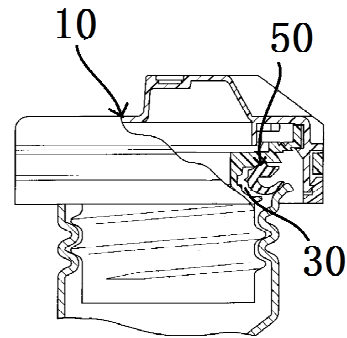
キャップ10は、ガスケット50と、ガスケット50を保持する保持凹部30を有する。

ガスケット50は、保持凹部30の天井側壁面32に接触する天井側リップ52と、シール面14bに接触するシール面側リップ54と、それらを連結する連結部55を有している。

キャップ10を装着時、圧縮されたガスケット50の連結部55と、保持凹部30の間には、ギャップGPが存在している。

[発明の効果]

ガスケット50と保持凹部30の接触面積を減らすことで、シール面14bへの面圧を大きくできる。



自動車用ウエザストリップ

特許No. 5152664

発明者 岩佐則正, 有竹祐則, 土岐智, 酒井高明

[発明の属する技術分野]

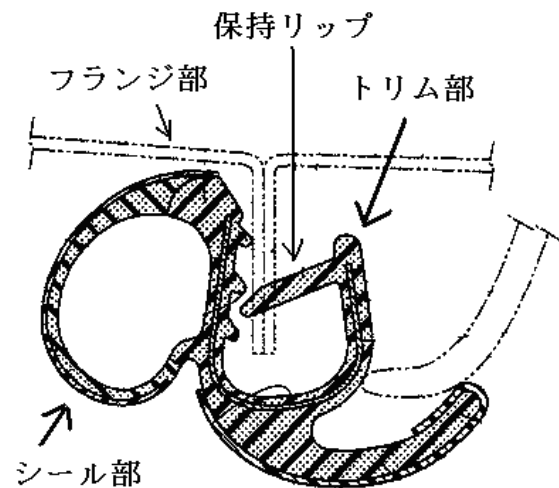
本発明は、ドア開口とドアの間をシールするトリム部を有するウエザストリップに関するものである。

[発明の概要]

保持リップを有するトリム部は、EPDMゴム100重量部とエチレン・オクテン樹脂12~20重量部のブレンド材で、比重が0.6~0.8、かつ、25%伸張応力が500KPa以上のスポンジゴムから形成されている。

[発明の効果]

トリム部の重量を軽減することができるとともに、保持リップが十分な剛性を有することができる。



III族窒化物系化合物半導体の製造方法及び発光素子

特許No. 5082672

発明者 奥野浩司, 齋藤義樹

[発明の属する技術分野]

本発明は, III族窒化物系化合物半導体の製造方法及び発光素子に関する.

[発明の概要]

凹凸が形成された基板上に, バッファ層 (図示せず) が形成され, 更にその上にIII族窒化物系化合物半導体層 (nGaN層) がエピタキシャル成長により形成されており, 該半導体層に, $1\sim 8 \times 10^{18}/\text{cm}^3$ 以下のシリコン (Si) がドーピングされていることを特徴とする.

[発明の効果]

半導体層が膜厚方向へ成長していく際の, ボイドの発生, 及び, 半導体層の転位密度が不均一となることを, 抑制することが出来る.

